

令和6年度評価調査者養成研修実施要領

1 目的

とちぎ福祉サービス第三者評価推進機構（以下「推進機構」という。）評価調査者研修実施要領に基づき、推進機構が認証した第三者評価機関が、福祉サービス第三者評価を実施するにあたり、その所属する評価調査者が一定の知識と技術を持って評価を行うことができるよう、本研修を実施します。

2 主催

とちぎ福祉サービス第三者評価推進機構（社会福祉法人 栃木県社会福祉協議会）

3 会場

とちぎ福祉プラザ（宇都宮市若草1-10-6）、実習施設、Zoomでのオンライン、一部eラーニング

4 受講定員

10名

定員を超えた場合は、受講者名簿の優先順位などを配慮のうえ、調整させていただきます。

5 受講対象者

次の（1）（2）の要件を両方満たしている者を対象とします。（別添受講資格要件を参照）

（1）次のa又はbを満たしている者

a 組織運営管理業務を3年以上経験している者、又はこれと同等の能力を有していると認められる者

b 福祉、医療、保健分野の有資格者若しくは学識経験者で当該業務を3年以上経験している者、又はこれと同等の能力を有していると認められる者

（2）推進機構から認証を受けている、または今年度中に認証を受ける予定の第三者評価機関に属している（属する予定の）者

※推進機構評価調査者研修実施要領第11条の規定により、「3年以上評価業務に従事しない場合には資格を失う」となっております。

資格喪失日の前日までに評価結果の公表が難しい者が、資格の継続を希望する場合は、本研修の受講対象となります。

なお、とちぎ福祉サービス第三者評価推進機構福祉サービス第三者評価機関認証要領の2の（1）のイの規定により、aまたはbの資格を有する評価調査員をそれぞれ1名以上設置できない場合、同要領の4の（1）の規定により、評価機関の認証を取り消される場合があることも併せてご承知おきください。

6 受講料

無料（交通費及び研修期間中の昼食・宿泊費等は各自ご用意ください）

7 研修実施日、会場

- 第1日目 8月21日(水) Zoomでのオンライン学習
- 第2日目 8月22日(木) から9月13日(金) までの間 e-ラーニング
- 第3日目 9月17日(火) 404会議室(午前)・301会議室(午後)
- 第4日目 9月26日(木) ライキ園(塩谷町)
- 第5日目 10月1日(火) 301会議室

8 研修カリキュラム

別紙カリキュラムにより実施します。

9 受講申込み

第三者評価機関にて受講申込者をお取りまとめのうえ、養成研修受講申込書等必要書類を添えて、推進機構あてにお申込みください。(個人からの個別の申し込みは受けません。)

【今年度認証申請を行う第三者評価機関の皆様へ】

- ・「評価機関名」の欄は、認証申請を行う法人の名称をご記入ください。
- ・「福祉サービス第三者評価機関認証申請書」も期限内に提出してください。

【評価機関への留意事項】

- ・受講予定者に対して事前に社会福祉制度や第三者評価制度に対する理解を深めていただくとともに、各機関に所属する評価調査者であるという認識を徹底されるようお願いいたします。
- ・また、本研修は本県における評価調査者として必要な一定の知識、技術への理解を目指すものであり、実際の評価に向けて、評価調査者としての資質のさらなる向上は、各評価機関内における研修や自己研鑽によるものであることを徹底されるようお願いいたします。

10 申込書類

お申込みの際の必要書類は次のとおりです。

- ・ 評価調査者養成研修受講申込書(様式1)
 - ・ 受講申込者名簿(別記様式)
 - ・ 評価調査者経験・資格証明書(様式2) ※個人ごとに作成のこと
 - ・ 事前レポート ※個人ごとに作成のこと
 - テーマ1 今回の養成研修では、何を学びたいですか
 - テーマ2 評価調査者としてどのような活動をしたいと考えていますか
- 各400字以内、A4縦の用紙1枚に横書きのこと(様式は任意)

11 申込み受付期間

令和6年7月26日(金)まで 必着

12 受講の決定

申込者の資格審査を行った上で受講の承認又は不承認の決定を行い、その旨を第三者評価機関に通知します。

13 研修の修了

本研修全課程の修了確認及び提出されたレポート内容等の検討後に、評価調査者養成研修修了者証の交付の可否を決定します。修了証は郵送にて第三者評価機関あてに送付します。

なお、平成30年度から社会的養護施設（児童養護施設、乳児院、児童自立支援施設、児童心理治療施設（旧 情緒障害児短期治療施設）、母子生活支援施設）の評価機関の認証は全国推進組織（全国社会福祉協議会）によるものとなっています。社会的養護施設を評価するにあたっては、別途、全国社会福祉協議会等が主催する社会的養護関係施設第三者評価調査者養成研修を受講する必要がありますので、ご注意ください。

14 その他

- (1) Zoom での環境は各自にて対応願います。
- (2) 講義の録画、録音は禁止いたします。

15 お申込み先・お問合せ先

とちぎ福祉サービス第三者評価推進機構

〒320-8508 宇都宮市若草1-10-6（栃木県社会福祉協議会内）

電話028-622-7555 FAX028-622-2316

E-mail info@tfhs.jp

ホームページ <http://www.tfhs.jp/>

令和6年度 評価調査者養成研修日程

第1日目 令和6年8月21日(水) (Zoomでのオンライン学習)

時間	研修項目	形態	目的	講師/担当
13:00	受付			
13:30	開会 オリエンテーション			事務局
13:45	1 第三者評価の理念と基本的な考え方	講義 1時間	第三者評価事業の理念や基本的な考え方、動向を理解する。	福田 雅章氏
14:45	休憩			
14:55	2 第三者評価の全体像	講義 30分	各種規程等の説明。評価調査者養成研修の位置付け等を理解する。	事務局
15:25	実習先事業所の事前提出資料の確認	30分	各自で事前提出資料の内容を確認する。	事務局
15:55	事務連絡			事務局
16:05	終了	計2時間		

第2日目 eラーニングにて学習 (8月22日(木)~9月13日(金))

	研修項目	形態	目的	講師/担当
	3 評価調査者の役割と倫理	講義 1時間	評価調査者として守るべき倫理や、訪問調査時の留意点を理解する。	篠崎 文男氏
	4 利用者調査の方法等について	講義 1時間	第三者評価における利用者調査の位置付けを正しく理解するとともに、その方法を学ぶ。	篠崎 文男氏
	5 第三者評価基準の理解と判断のポイント「共通分野」	講義 1時間	第三者評価基準の考え方を理解するとともに実際の第三者評価の方法を習得する。	福田 雅章氏
	6 第三者評価基準の理解と判断のポイント「高齢分野」	講義 1時間	第三者評価基準の考え方を理解するとともに実際の第三者評価の方法を習得する。	篠崎 文男氏
	7 第三者評価基準の理解と判断のポイント「障害分野」	講義 1時間	第三者評価基準の考え方を理解するとともに実際の第三者評価の方法を習得する。	伊藤 淳一氏
	8 第三者評価基準の理解と判断のポイント「保育分野」	講義 1時間	第三者評価基準の考え方を理解するとともに実際の第三者評価の方法を習得する。	坪井 真氏
	9 第三者評価基準の理解と判断のポイント「放課後児童クラブ分野」	講義 1時間	第三者評価基準の考え方を理解するとともに実際の第三者評価の方法を習得する。	坪井 真氏
	終了	計7時間30分		

※ eラーニング終了時にアンケートを提出

第3日目 令和6年9月17日（火） 会場：とちぎ福祉プラザ404（AM）・301（PM）

	研修項目	形態	目的	講師／担当
10:15	受付			
10:30	9 書面（事前）審査の着眼点	講義 1時間20分	書面（事前）審査の目的や具体的な方法を理解・習得する。	伊藤 淳一氏
11:50	休憩			
12:50	10 訪問調査の着眼点	演習 3時間	訪問調査における各第三者評価基準の評価判定方法、その着眼点を理解する。	
15:50	事務連絡			事務局
16:00	終了	計4時間20分		

第4日目 令和6年9月26日（木） 会場：ライキ園

時間	研修項目	形態	目的	講師／担当
9:30	11 実習 I（訪問調査）	実習 2時間	実際に施設（事業所）を訪問、調査を行うことによって具体的な第三者評価の方法・技術を習得する。	伊藤 淳一氏
11:30	休憩			
12:30	11 実習 I（訪問調査）	実習 2時間30分		
15:00	会場移動			
15:30	11 実習 I（振り返り）	演習 1時間30分		
17:00	事務連絡			
17:10	終了	計6時間		

第5日目 令和6年10月1日（火） 会場：とちぎ福祉プラザ301

時間	研修項目	形態	目的	講師／担当
9:15	受付			
9:30	12 実習 II	演習 2時間30分	実習 I の内容を受けて、第三者評価結果のとりまとめについて具体的な手法を習得する。	伊藤 淳一氏
12:00	休憩			
13:00	12 実習 II	演習 3時間	実習 I の内容を受けて、第三者評価結果のとりまとめについて具体的な手法を習得する。	
16:00	修了レポート	全体会 1時間	研修修了にあたって、レポートを提出する。	事務局
17:00	事務連絡			
17:10	終了	計6.5時間		